

## 第 1 話 伝統

\*\*\*\*\*

私達の生活の中には「伝統」と呼ばれるものがあります。「伝統行事」、「これがわが校の伝統だ」などのような使われ方をされます。「伝統」は古くから伝えられてきた「行い」「考え」ですが、なぜ古くから途切れることなく伝えられ、今日も生き続けているかというところと多くの場合はそれなりに理にかなった理由があります。

さて、長い歴史をもつ数学にも「伝統」があります。では、この「伝統」はすべて理にかなったものばかりなのでしょうが？

\*\*\*\*\*

新学期が開始して 1 週間が経過し、3 年 1 組の生徒達はお互いの名前も覚えてようやく慣れてきたようです。

昼休みに昼食をとり終えた後で幸一君は席を立たずにいました。幸一君は高 2 のときまでは昼休みには必ず体育館か校庭に遊びに行っていました。先週の数学の授業で証先生が

「高 3 になったら新しく学習する数学 III, C だけでなく、すでに学習済みの数学 I, A, II, B についても復習しておくことが大切です。」

と言っていたので、今日は数学 I の参考書を開いて少し勉強してみようと考えていたのです。

数学 I の参考書を開いてまもなく、幸一君は次の問題で悩んでいました。

### 【問題 1-1】

2 次関数  $f(x) = x^2 - 6x + 3$  の最小値を求めよ。

幸一: うーん。よくわからないな。うーん。

るい: 幸一、何を悩んでいるの？

幸一: るい、ちょっとるいの使っている参考書も見せてよ。

るい: これのこと? いいよ。